

国語総合

使用教科書・副教材	単位数	学年・学級・学科・選択名等
・新編「国語総合」三訂版(大修館書店) ・新訂「最新国語便覧」(浜島書店)	2	2年1、2組

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に表現する能力を育成し、伝え合う力を養う。 ・現代文を通して文意の内容を把握することから、心情を豊かにし、思考力や想像力を伸ばす。 ・古文・漢文の鑑賞を通して日本の文化について興味関心を持ち、国語を尊重する態度を育てる。
----------------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点					評価方法	
					①	②	③	④	⑤		
前	4	〈オリエンテーション〉	1	・学習についての興味を高める。 ・授業の進め方、教科書の説明、ノートの取り方を知る。 ・評価について理解する。	○						・提出物
	5	〈現代文〉 「さびしんぼうだった青春時代」 (大林宣彦)	10	・現代小説を読み、「対話」の大切さを読み取る。 ・文学史について知る。	○	○			○		・読み取り ・発表と聞く姿勢 ・小テスト
	6	〈古文〉 「奥山に猫またといふもの」 (徒然草)	6	・歴史的仮名遣いや古語に触れ、本文を正しく読む。 ・話の展開に即して、登場人物の心情を理解する。	○			○	○		・ノート ・ワークシート
前 期 中 間 考 査							○	○	○		・定期考査
期	7	〈現代文〉 「記念写真」(赤川次郎)	8	・情景、心情など、表現に即して読み味わう。 ・心情の考察から豊かな感受性を磨く。	○			○	○		・小テスト ・提出物
	8	〈漢文〉 「自然の歌」(唐詩)	8	・漢詩を読み味わい、古典文学への関心を深める。 ・唐代の詩を繰り返し音読みし、漢文特有の口調に慣れ親しむ。 ・作者の心情や描かれた状況、形式、表現を理解する。	○			○	○		・観察 ・小テスト ・提出物
	9	〈現代文〉 「コミュニケーションを支えるもの」 (森田良行)	8	・論理的な構成の文章に触れ、筆者の考えを的確に読み取る。 ・必要に応じた要約や詳述をする。	○			○	○		・観察 ・ノート ・ワークシート
	前 期 期 末 考 査							○	○	○	
後	10	〈現代文〉 「ボランティアという名の『無償財』」 (堀田力)	4	・論理の展開をたどり、「ボランティア」が社会において果たす役割について、理解を深める。	○	○		○	○		・観察 ・ノート ・ワークシート
	11	〈古文〉 「和歌と俳諧の調べ」 (万葉集・古今和歌集)	3	・古典詩歌を繰り返し音読みし、それらの韻律や内容を理解する。 ・現代に通じる古人の感性について、理解を深める。	○			○	○		・ノート ・ワークシート
後 期 中 間 考 査							○	○	○		・定期考査

後	12	〈現代文〉 「夢十夜」(夏目漱石)	8	・登場人物の心理や場面描写を丁寧に読むことで、言語感覚を磨く。 ・虚構に託された寓意を読み取る。	○	○	○	○	・観察 ・ノート ・ワークシート	
	1	〈古文〉 「芥川」(伊勢物語)	8	・繰り返し音読し、人物、心情、情景等の表現に即して読み味わう。 ・現代とは異なる文化について、理解と認識を深める。	○			○	○	・ノート ・ワークシート
期	2	学 年 末 考 査						○	○	・定期考査
	3	〈言語〉 「履歴書の書き方」	6	・定められた書式に体裁良く書く練習をする。	○			○	○	・ワークシート

3 評価等について

項 目	①関心・意欲・態度	②話すこと・聞くこと	③書くこと	④読むこと	⑤知識・理解
内 容	国語や言語文化に関心を持ち、進んで表現、理解するとともに、伝えようとする。また、受け止めようとする。授業を大切に する。	考えをまとめ、目的や場面に応じた話し方をしたり、的確に聞き取ったりする。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、適切に文章を書く。	様々な文章を読んで、内容を理解する。	表現や理解に役立てるための音声、表記、語彙、漢字などを理解し、知識として身につける。
割 合	30%(点)	10%(点)	60%(点)		

(1) 毎時間の授業の中で約10分間、漢字や語句の練習をし、次時の始めに小テストを行う。

(知識・理解)

(2) 授業時間内に漢字練習などが終わらない場合は、自宅などで自学し、次時にそのプリントを提出する。

(関心・意欲・態度)

評価について

評価	評価点
10	100 ～ 93
9	92 ～ 85
8	84 ～ 77
7	76 ～ 70
6	69 ～ 61
5	60 ～ 53
4	52 ～ 45
3	44 ～ 38
2	37 ～ 30
1	29 ～ 0

学年末評定について

評価	評価点
5	100 ～ 85
4	84 ～ 70
3	69 ～ 45
2	44 ～ 30
1	29 ～ 0

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 毎時間の授業で、課題の提出をすること。
- (2) 漢字小テストに意欲的に取り組むこと。
- (3) 先生の話や友人の意見をしっかり聞くこと。
- (4) 毎時間の授業を大切に、意欲的に取り組むこと。

※以上の点を守れない場合には、未履修となる可能性があるため、注意してください。